

ダッシュボード Dashboard



本文の内容は、Dashboardsのドキュメント

(https://docs.sysdig.com/en/dashboards.html)を元に日本語に翻訳・再構成した内容となっております。

ダッシュボード		7
ダッシュボードスコープ		8
ダッシュボードスコープを設定す	たる	8
パネルスコープを設定する		10
ダッシュボードの管理		12
ダッシュボードの整理		12
デフォルトのダッシュボード	を設定する	12
ダッシュボード固有のイベン	トを表示する	12
ダッシュボードを共有する		14
ダッシュボードを現在のチー	ムと共有する	15
ダッシュボードをチームにコ	ピーする	16
パブリックURLを介してダッ	シュボードを共有する	16
ダッシュボードを設定する		17
プレビルドダッシュボード		17
新しいダッシュボードを作成する	5	18
Exploreタブから		18
ウィザードで		19
ダッシュボードレイアウトの設定	Ē	20
フルスクリーンを設定する		20



パネルサイズの設定	21
個々のパネルを設定する	21
すべてのパネルを設定する	21
パネルを移動する	21
パネルの設定	22
パネルを作成する	22
新しいパネルを作成する	22
パネルを複製する	23
パネルの種類	23
ライン	23
エリア	25
トップリスト	25
ヒストグラム	26
トポロジー	26
ナンバー	27
テーブル	28
テキスト	28
テキストパネルのマークダウン	29
ヘッダー	29
強調	29
リスト	29
改行	29
パネルを管理する	30



1	パネルを別のダッシュボードにコピーする	30
	単一のパネルをコピーする	30
	すべてのパネルをコピー	31
	パネルアラートを作成する	32
	パネルデータのエクスポート	32
	CSVをエクスポート	32
	JSONをエクスポート	33
	既存のパネルを削除する	33
トポロジ	ビューを使用したメトリクスの視覚化	34
トポリ	ロジビューについて	35
トポリ	ロジビューの設定	36
E	xploreからのアクセス	36
5	ヹ ッシュボードからのアクセス	37
	トポロジビューをパネルとして追加する	37
	トポロジビューのダッシュボードを作成する	38
事前定義	されたダッシュボード	39
アプ	リケーションダッシュボード	39
コン	プライアンスダッシュボード	42
ホス	トとコンテナのダッシュボード	43
ネッ	トワークダッシュボード	45
Kube	ernetesリソース使用率ダッシュボード	46
Kube	ernetes State ダッシュボード	51
#-	ドスダッシュボード	53



	トポロジーダッシュボード	53
新	f規ダッシュボード	54
	新しいダッシュボードUIについて	55
	ウィジェット	55
	タイムナビゲーション	55
	プリセット	55
	範囲	56
	ライブ	57
	タイムフォーマット	57
	パネルのプロパティ	58
	クエリ	58
	フォームベースのクエリ	58
	高度なクエリ	58
	軸を定義する	59
	凡例を定義する	60
	パネルを定義	60
	新しいダッシュボードを設定する	61
	単純なクエリの構築	62
	高度なクエリの構築	64
Pr	romQLを使用する	66
	PromQLを使用するためのガイドライン	66
	クエリの構築	67
	PromQLクエリを構築する	67

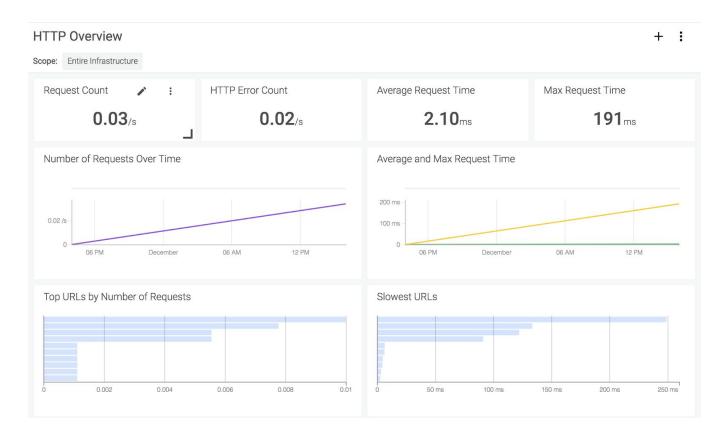


スクリプトを使用してダッシュボードを保存および復元する		
	前提条件	69
	スクリプトをダウンロードする	70
	Pythonスクリプトですべてのダッシュボードを保存する	70
	Pvthonスクリプトを使用してダッシュボードを復元する	71



ダッシュボード

Sysdigユーザーは、カスタマイズされたダッシュボードを作成して、単一の場所でインフラストラクチャーの最も有用な/関連するビューとメトリクスを表示できます。各ダッシュボードは、特定のデータをさまざまな形式で表示するように構成された一連のパネルで構成されています。



ダッシュボードとパネルがどのように作成、整理、管理されるかについては、次のセクションをご覧ください。

- ダッシュボードスコープ
- ダッシュボードの管理
- ダッシュボードを設定する



- パネルの設定
- トポロジビューを使用したメトリクスの視覚化
- 事前定義されたダッシュボード
- スクリプトを使用してダッシュボードを保存および復元する
- 新規ダッシュボード
- PromQLを使用する

ダッシュボードスコープ

ダッシュボードおよびパネルスコープは、ダッシュボード内の集計および表示に有効なデータを定義 します。 スコープは、ダッシュボード全体のレベルで設定するか、表示専用ユーザーを除くユーザー タイプごとに個別のパネルで上書きできます。

現在のスコープは、モジュール画面の左上隅に表示されます。



ダッシュボードスコープを設定する

既存のダッシュボードのスコープを構成するには:

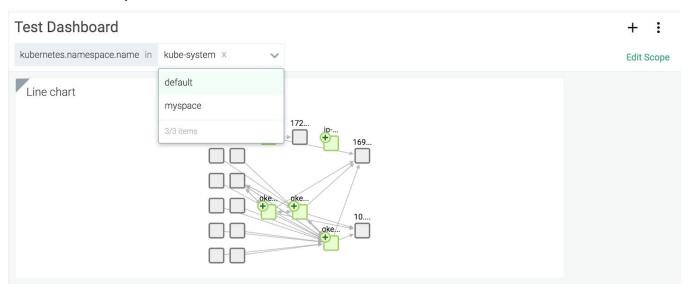
- 1. ダッシュボードモジュールから、ダッシュボードリストから関連するダッシュボードを選択します。
- 2. モジュール画面の右上にある[Edit Scope]リンクをクリックします。



Network Overview (Stacked)



- 3. 最初のレベルのドロップダウンメニューを開きます。
- 4. 目的のラベルをクリックするか、ラベルを検索してクリックすることにより、第1レベルのラベルを選択します。
- 5. 値とラベルの関係を定義し、値を定義します。
 スコープエディターは、選択したラベルに固有の値をレンダリングすることにより、後続のフィルターの選択範囲を制限します。 たとえば、kubernetes.namespace.nameラベルの値が kube-systemである場合、後続のラベル、container.nameの値はkube-systemによってフィルターされます。 これは、フィルタリング用にレンダリングされるコンテナは、kube-system ネームスペースの一部であるコンテナのみであることを意味します。
- 6. オプション:ダッシュボードのテンプレート ダッシュボードのスコープ値は変数として定義できるため、ユーザーはテンプレートを作成 し、複数の出力に1つのダッシュボードを使用できます。たとえば、次のイメージでは、 kubernetes.namespace.nameラベルが変数として設定されています。



- 7. オプション:ラベル/値の組み合わせを追加して、スコープをさらに絞り込みます。
- 8. [Save]ボタンをクリックして新しいスコープを保存するか、[Cancel]ボタンをクリックして変更を元に戻します。

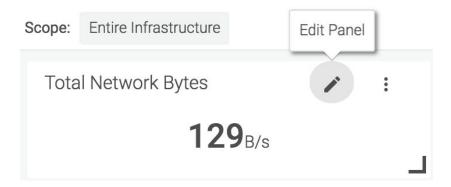


ダッシュボードのスコープをインフラストラクチャ全体にリセットするか、既存のダッシュボードのスコープをインフラストラクチャ全体に更新するには、最初のスコープドロップダウンメニューを開き、すべての場所を選択します。

パネルスコープを設定する

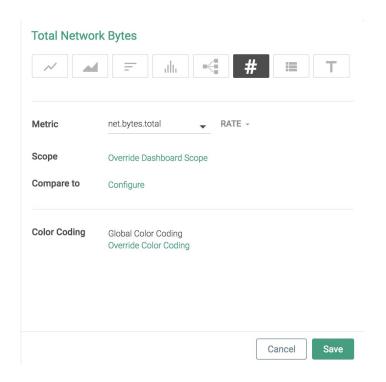
既存のダッシュボードパネルのスコープを設定するには:

- 1. ダッシュボードモジュールから、ダッシュボードリストから関連するダッシュボードを選択します。
- 2. 目的のパネルにカーソルを合わせ、Edit (鉛筆) アイコンを選択します。



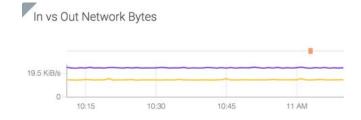
3. [Override Dashboard Scope]リンクをクリックして、カスタムパネルスコープを有効にします。





個々のパネルスコープをデフォルトのダッシュボードスコープに戻すには、[Default to Dashboard Scope]リンクをクリックして、変更を保存します。

- 4. [Scope]ドロップダウンメニューを開きます。
- 5. 新しいスコープを選択するか、目的のスコープを検索して選択します。
- 6. [save]ボタンをクリックして、変更を確認します。 カスタムスコープ (ダッシュボード全体とは異なるスコープ) があるパネルには、影付きの コーナーが付いています:





ダッシュボードの管理

このセクションは、ダッシュボードを効果的に使用し、チームと共有するのに役立ちます。

ダッシュボードの整理

ダッシュボードは、3つの主要なグループに分類されます。

- My Dashboards:現在のユーザーが作成したダッシュボード。
- My Shared Dashboards:現在のユーザーが作成し、他のユーザーと共有するダッシュボード。
- Dashboards Shared With Me:他のユーザーが作成し、現在のユーザーと共有しているダッシュボード。

デフォルトのダッシュボードを設定する

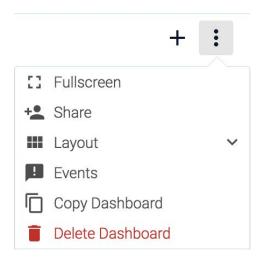
デフォルトのダッシュボードを設定すると、チームのデフォルトのエントリポイントを設定し、チームのSysdig Monitorエクスペリエンスを統合し、ユーザーが最も関連性の高い情報に即座に注意を集中できるようになります。 デフォルトのエントリポイントの設定の詳細については、Sysdigプラットフォームドキュメントの「エントリページまたはチームのダッシュボードの設定」セクションを参照してください。

ダッシュボード固有のイベントを表示する

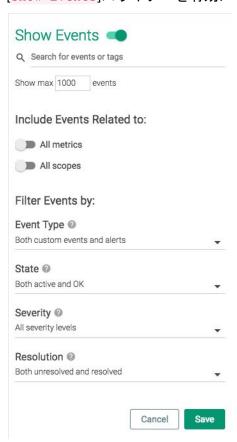
Sysdig Monitorを使用すると、ユーザーはダッシュボードを設定して、パネル自体にダッシュボードのパネルに関連するインフラストラクチャイベントを表示できます。 これにより、ユーザーは環境の状態をさらに詳細に表示できます。 イベントの表示方法を構成するには:

- 1. [Dashboard]タブで、ダッシュボードリストから関連するダッシュボードを選択します。
- 2. ダッシュボード設定(3つのドット)アイコンをクリックし、イベントを選択します。





3. [Show Events]スライダーを有効にして、ダッシュボードパネルにイベントを表示します。



4. 使用可能なパラメーターを構成し、[Close]ボタンをクリックします。

オプション 説明



Event or Tag Search Bar	表示する特定のイベントまたはイベントの範囲を定義します。
Show max	パネルに表示するイベントの最大数を定義します。
Include events related to	表示されるイベントの範囲にすべてのメトリクス/スコープのイベント が含まれるかどうかを決定します。
Event Type	カスタムイベント、アラート、またはその両方を表示します。
State	表示されるイベントの状態を決定します。
Severity	重大度の高いイベントのみを表示するか、すべてのイベントを表示す るかを決定します。
Resolution	すべてのイベント、または解決済み/未解決のイベントのみを表示する かどうかを決定します。

ダッシュボードを共有する

ダッシュボードは、ダッシュボードのパブリックURLを設定することにより、チームメンバー間で内部的に、より広い組織内で、またはパブリックに共有できます。以下の表は、ダッシュボードを共有できるさまざまな方法と、ユーザーのさまざまな権限の概要を示しています。

	誰が共有/コピー できるか	ダッシュボード インスタンス	アクセスできる チーム/ユーザー	読める	編集出来る
現在のチー ムと共有す る	ダッシュボード作 成者	同じダッシュ ボードインスタ ンス	現在のチームメン バーのみ	チームのすべて のメンバー	チームのユー ザーを編集する
URLとして 一般公開	チームの編集ユー ザー	同じダッシュ ボードインスタ ンス	URLを知っている 人 (Sysdigユー ザーは必要ありま せん)	誰でも	スコープ変数を 持つURL(Sysdigユーザー による必要はあ りません)を持 つすべての人



現在のチー ムにコピー	チームの編集ユー ザー	ダッシュボード の複製コピー	現在のチームメン バーのみ		
別のチーム にコピー	チームの編集ユーザー	ダッシュボード の複製コピー	元のダッカス ドが共有さ、コーケッシュボー い場合、サークを したユーヤスが、カーケック で、カードが、カードが、オートー ムのすっと カートが、オーケック カート・カート・カート・カート・カート・カート・カート・カート・カート・カート・	のメンバー (ダッシュボー ドを共有してか らコピーする場	ザーを編集する (ダッシュボー ドを共有してか

ダッシュボードを現在のチームと共有する

ダッシュボードはユーザーの現在のチーム全体で共有できるため、他のチームメンバーがダッシュボードを表示できるだけでなく、チーム内で編集権限がある場合はパネルを編集できます。 ダッシュボードを共有するには:

- 1. [Dashboards]タブに移動します。
- 2. 左側のパネルからダッシュボードを選択します。
- 3. [Settings] (3つのドット) アイコンを選択し、[Share]をクリックします。
- 4. [Share with Team]スライダーを切り替えて、ダッシュボードを現在のチームと共有します。



有効にすると、ダッシュボードはリンクを持つすべてのユーザーにスコープパラメーターと共に表示されます。 この設定を無効にすると、リンクは機能しなくなります。ダッシュボードにアクセスするには、設定を再度有効にして再度共有する必要があります。

ダッシュボードをチームにコピーする

ダッシュボードの共有とは異なり、ダッシュボードをコピーすると、元のダッシュボードを編集/表示できるようにするのではなく、複製が作成されます。

ダッシュボードをコピーするには:

- 1. [Dashboards]タブに移動します。
- 2. 左側のパネルからダッシュボードを選択します。
- 3. [Settings]アイコンをクリックし、ドロップダウンリストから[Copy Dashboard]を選択します。
- 4. Current TeamまたはOther Team(s)を選択して、ダッシュボードをそれらのチームにコピーします。

注意

ダッシュボードを別のチームにコピーする場合は、ドロップダウンメニューを開き、関連するチェックボックスを選択します。このオプションでは、複数のチームを選択できます。

- 5. 必要に応じて、ダッシュボードの名前を変更します。
- 6. [Copy and Open / Send Copy]ボタンをクリックして、変更を保存します。

パブリックURLを介してダッシュボードを共有する

ダッシュボードは、パブリックURLを使用して内部チームの外部で共有できます。 これにより、外部 ユーザーはダッシュボードのメトリクスを確認しながら、パネルと構成の変更へのアクセスを制限できます。

スコープ変数を含むスコープパラメーターは、ダッシュボードURLに含まれています。 有効なリンクを持つ外部ユーザーは、サインインすることなくスコープパラメーターを変更できます。ユーザーは、UIまたはURLで編集できます。 スコープパラメーターは、疑問符の後にパラメーター名、等号、



パラメーター値が続く標準リクエストヘッダーに渡されます。 URLのパラメーターを編集するには、目的のパラメーターに置き換えるだけです。

ダッシュボードを共有するには:

- 1. [Dashboards]タブに移動します。
- 2. 左側のパネルからダッシュボードを選択します。
- 3. [Settings]アイコンを選択し、[Share]をクリックします。
- 4. [Share Public URL]スライダーを切り替えて、カスタムパブリックURLを表示します。

警告

有効にすると、ダッシュボードはリンクを持つすべてのユーザーにスコープパラメーターと 共に表示されます。この設定を無効にすると、リンクは機能しなくなります。ダッシュボー ドにアクセスするには、設定を再度有効にして再度共有する必要があります。

5. 公開URLをコピーして共有します。

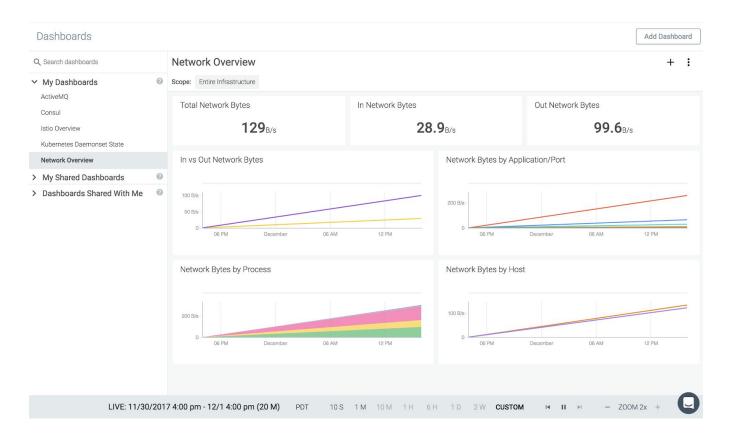
ダッシュボードを設定する

ダッシュボードの作成には、ダッシュボード自体の作成と、情報を表示するパネルの作成という2つの 部分があります。

プレビルドダッシュボード

Sysdigは、サポートされているさまざまなアプリケーション、ネットワークトポロジー、インフラストラクチャレイアウト、およびサービスを中心に設計された、事前に構築された多数のダッシュボードを提供します。これらは、さらに設定するためのテンプレートとして、ダッシュボード構築プロセスを開始するために使用できます。プレビルドダッシュボードには、最も関連性の高いユーザーの情報に基づいて、すでに設定された一連のパネルが付属しています。以下の例では、Network Overview ダッシュボードテンプレートを使用しています。





デフォルトのダッシュボードには、合計、ネットワーク内、およびネットワーク外のバイトの数値パネル、ネットワーク内とネットワーク外のバイトを比較する折れ線グラフ、およびアプリケーション/ポート、プロセス、ホストごとのバイト使用量が含まれます。

新しいダッシュボードを作成する

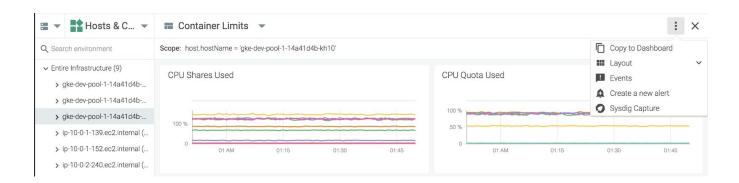
Exploreタブから

[Explore]タブからダッシュボードを作成するには:

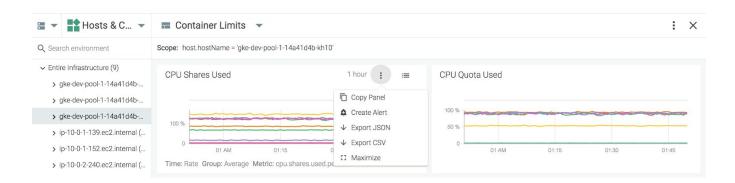
- 1. 現在のダッシュボードまたはダッシュボード内のパネルの設定(3つのドット)アイコンをクリックします。
- 2. 手順1で選択したアイコンに応じて、[Copy to Dashboard]または[Copy Panel]を選択します。

オプション1:





オプション2:



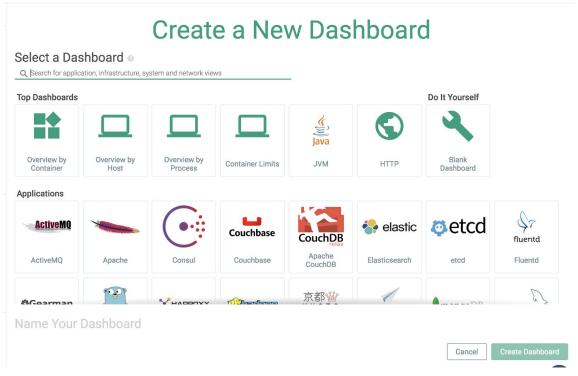
3. 新しいダッシュボードの名前を定義し、[Copy and Open]ボタンをクリックして新しいダッシュボードを保存します。

ウィザードで

ダッシュボードウィザードでダッシュボードを作成するには、



1. [Dashboards]タブで、[Add Dashboard]ボタンをクリックします。



- 2. 事前に作成されたダッシュボードを選択するか、Blank Dashboardを選択してゼロから作成します。
- 3. ダッシュボードの名前を定義し、[Create Dashboard]ボタンをクリックします。

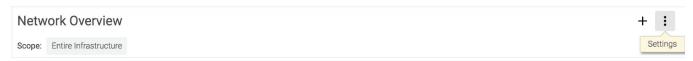
これで、新しいダッシュボードが[My Dashboards]の下のサイドパネルに追加され、構成の準備が整います。

ダッシュボードレイアウトの設定

フルスクリーンを設定する

現在のダッシュボードをフルスクリーンモードで表示するには:

ダッシュボードの[Settings] (3つのドット) アイコンをクリックし、[Fullscreen]オプションを選択します。





注意

ダッシュボードはフルスクリーンモードで構成できません-フルスクリーンモードが終了するまで、 読み取り専用です。

フルスクリーンモードを終了するには、ESCキーボードキーを押すか、終了(十字)アイコンをクリックします。

パネルサイズの設定

個々のパネルを設定する

個々のパネルのサイズを変更するには、マウスカーソルをパネルの右下隅に移動し、斜めのサイズ変更カーソルが表示されるまで、マウスの左ボタンを押したまま、カーソルを移動してパネルのサイズを増減します。押しながら。[Save Layout]リンクをクリックして変更を保存するか、[Revert Changes]リンクをクリックして元に戻すことができます。

すべてのパネルを設定する

ダッシュボードのすべてのパネルのサイズを構成するには:

- 1. [Dashboards]タブで、左側のパネルから関連するダッシュボードを選択します。
- 2. ダッシュボードの設定(3つのドット)アイコンをクリックします。
- 3. [Layout]を選択して、ドロップダウンメニューを開きます。
- 4. 目的のパネルサイズを選択します。
- 5. 新しいサイズが正しい場合は、[Save Layout]リンクをクリックします。 それ以外の場合は、「Revert Changes」を選択します。

注意

この設定を構成すると、すべてのカスタムパネルサイズがオーバーライドされます。

パネルを移動する



パネルをダッシュボードの新しい位置に移動するには、マウスカーソルをパネルの上部に移動して、ハンドカーソルを表示します。マウスの左ボタンを押したまま、ボタンを押しながらカーソルを移動してパネルを移動します。[Save Layout]リンクをクリックして変更を保存するか、[Revert Changes]リンクをクリックして元に戻すことができます。

既存のダッシュボードを削除するには:

- 1. [Dashboards]タブで、左側のパネルから関連するダッシュボードを選択します。
- 2. ダッシュボードの設定(3つのドット)アイコンをクリックします。
- 3. [Delete Dashboard]を選択します。
- 4. [Yes, Delete Dashboard]ボタンをクリックして、変更を確認します。

パネルの設定

パネルを作成する

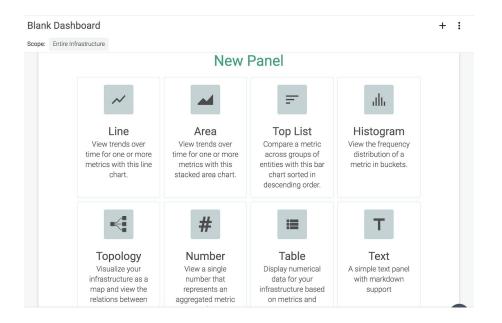
新しいパネルを作成する

事前作成されたダッシュボードの構成の詳細については、ダッシュボードの設定を参照してください。

ダッシュボードに新しいパネルを追加するには:

- 1. [Dashboards]タブで、左側のパネルから関連するダッシュボードを選択します。
- 2. [Add Panel] (クロス) アイコンをクリックします。 ブランクダッシュボードを構成している場合、使用可能なパネルタイプが表示され、パネルの 追加アイコンをクリックするのではなく、直接選択できます。





3. パネルタイプを選択します。



- 4. オプション:パネル名をクリックして変更します。名前を編集したら、パネルの他の場所をクリックして変更を保存します。
- パネルの関連するスコープ、セグメンテーション、およびメトリクスをします。
 各タイプのパネルについては、「パネルタイプ」セクションを参照してください。
- 6. [Save]ボタンをクリックして、新しいパネルを作成します。

パネルを複製する

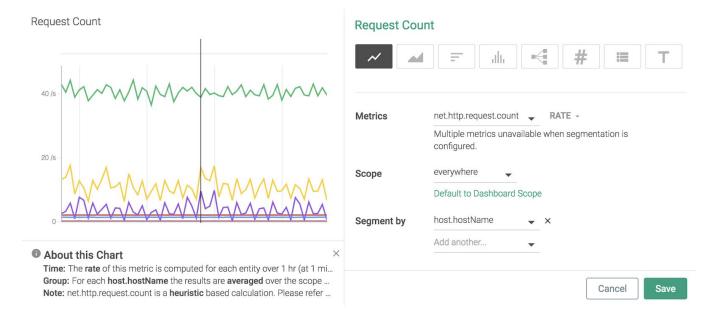
目的のパネルにカーソルを合わせ、Settings (ellipsis) アイコンをクリックして、[Duplicate Panel]を選択します。

パネルの種類

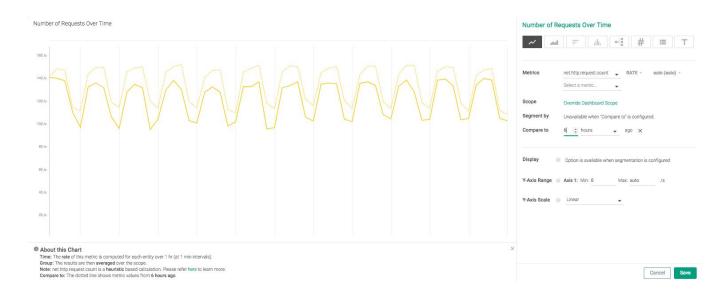
ライン



ラインパネルは、ユーザーが現在の値と履歴値を比較できるようにすることで、他のパネルタイプに 追加機能を提供します。



以下のイメージは、6時間前の値と比較した現在のnet.http.request.countレートを示しています。

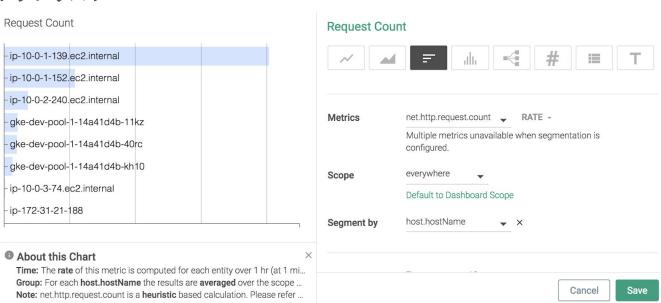




エリア

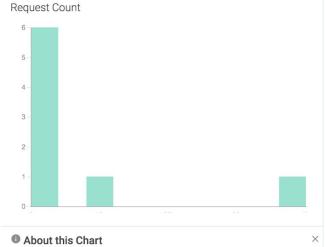


トップリスト

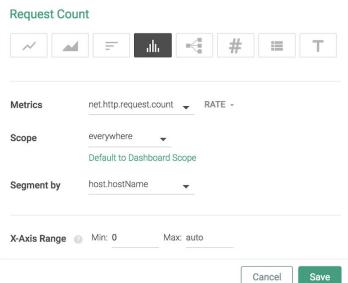




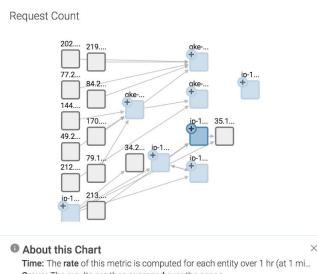
ヒストグラム



Time: The rate of this metric is computed for each entity over 1 hr (at 1 mi... Group: For each host.hostName the results are averaged over the scope. Note: net.http.request.count is a heuristic based calculation. Please refer ...

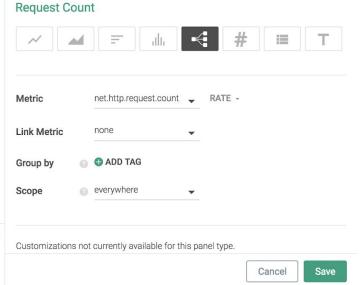


トポロジー



Group: The results are then averaged over the scope.

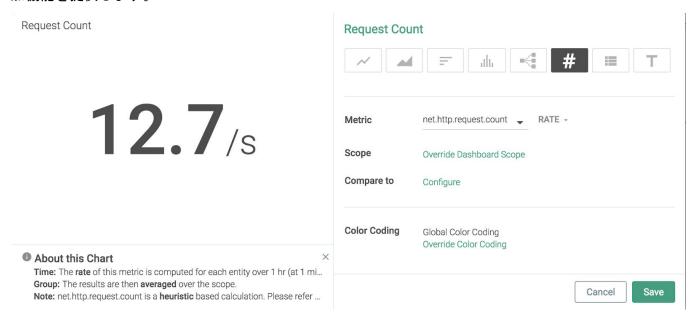
Note: net.http.request.count is a heuristic based calculation. Please refer ...



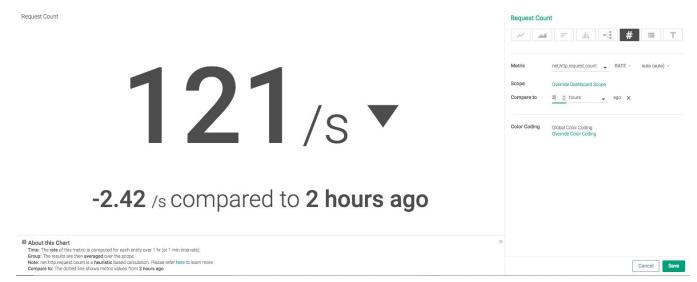


ナンバー

数字パネルは、ユーザーが現在の値を履歴値と比較できるようにすることで、他のパネルタイプに追加機能を提供します。



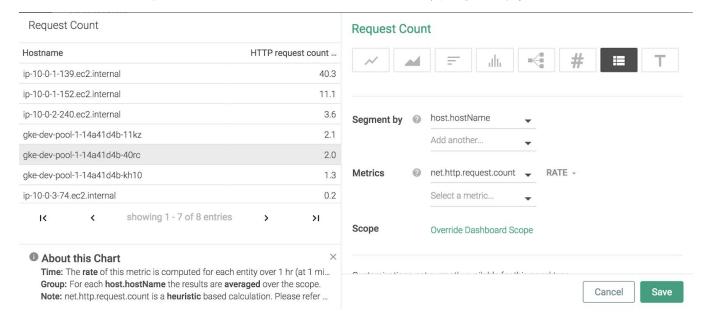
以下のイメージは、2時間前の値と比較したnet.http.request.countの値を示しています。





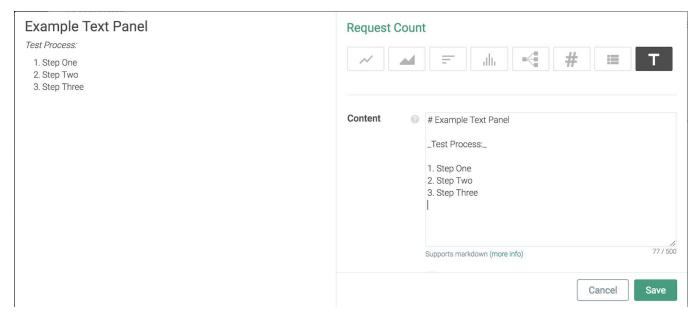
テーブル

テキストパネルには、カスタムマークダウン形式のテキストが表示されます。



テキスト

次の例では、手順のテスト手順のリマインダーリストとしてテキストパネルを使用しています。





テキストパネルのマークダウン

ヘッダー

```
# H1
## H2
### H3
#### H4
##### H5
##### H6

H1
=====
H2
-----
```

強調

```
*italics* or _italics_

**bold** or __bold__

**combined _emphasis_**

~~strikethrough~~

-
```

リスト

- 1. First ordered list item
- 2. Second item
- * Unordered sub-list.
 Sub-paragraph within the list item.
- 1. Third item
- 8. First ordered sub-list item.
- 103. Fourth item

一般的なガイドライン:

- リスト項目番号は重要ではありません。以下の例に示すように、フォーマットはリストを定義 します。
- リスト項目には、空白を使用して適切にインデントされた段落を含めることができます。
- 番号なしリストには、*、-、または+を使用できます。



改行

This is the first sentence.

This line is separated from the one above by two newlines, so it will be a *separate paragraph*.

This line is also a separate paragraph.

This line is only separated by a single newline, so it's a separate line in the *same paragraph*.

注意

新しい段落を作成せずに、改行に末尾のスペースを使用できます。この動作は、末尾のスペースが不要な一般的なGFM改行動作とは異なります。

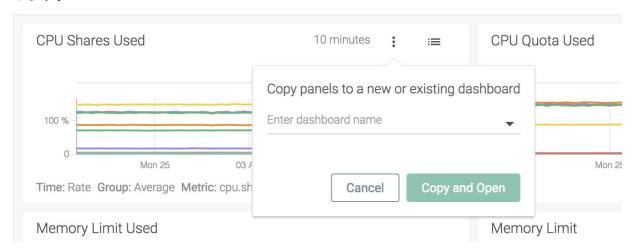
パネルを管理する

パネルを別のダッシュボードにコピーする

単一のパネルをコピーする

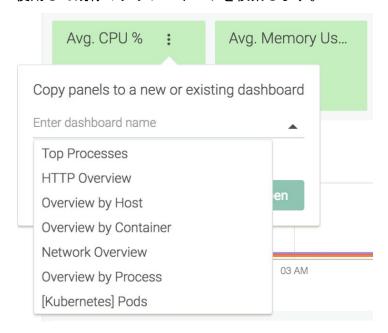
単一のパネルを別のダッシュボードにコピーするには:

- 1. [Explore]タブから、目的のドリルダウンビューを選択します。
- 2. 目的のパネルにカーソルを合わせ、設定(省略記号)アイコンを選択し、[Copy Panel]を選択します。





3. ドロップダウンメニューを開き、目的のダッシュボードを選択するか、テキストフィールドを使用して既存のダッシュボードを検索します。



注意

パネルを新しいダッシュボードにコピーするには、代わりにテキストフィールドに新しい ダッシュボードの名前を入力します。

4. [Copy and Open]ボタンをクリックして、変更を保存し、構成されたダッシュボードに移動します。

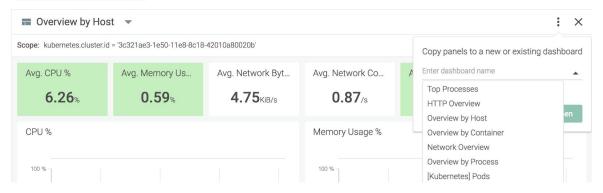
すべてのパネルをコピー

ドリルダウンビューのすべてのパネルをダッシュボードにコピーするには:

- 1. [Explore]タブから、目的のドリルダウンビューを選択します。
- 2. [More Options] (3つのドット) アイコンを選択します。



3. [Copy to Dashboard]を選択します。



4. ドロップダウンメニューを開き、目的のダッシュボードを選択するか、テキストフィールドを 使用して既存のダッシュボードを検索します。

パネルを新しいダッシュボードにコピーするには、代わりにテキストフィールドに新しいダッシュボードの名前を入力します。

5. [Copy and Open]ボタンをクリックして、変更を保存し、構成されたダッシュボードに移動します。

パネルアラートを作成する

アラートはダッシュボードパネルから直接作成できます。

- 1. [More Options] (3つのドット) アイコンをクリックします。
- 2. CreateAlert を選択します。
- 3. アラートを構成し、「Create」ボタンをクリックします。

パネルデータのエクスポート

- 一部のパネルタイプでは、CSVまたはJSONファイルを介してデータをエクスポートできます。
 - CSVファイルは、表および折れ線グラフ用にダウンロードできます。
 - JSONファイルは、折れ線グラフ用にダウンロードできます。

CSVをエクスポート

メトリクスのCSVをエクスポートするには:

1. [Explore]タブで、目的のドリルダウンビューに移動します。



2. 目的のパネルにカーソルを合わせ、[Settings] (3つのドット) アイコンを選択し、ドロップダウンメニューから[Export CSV]を選択します。

CSVファイルがローカルマシンに自動的にダウンロードされます。

JSONをエクスポート

メトリクスのJSONをエクスポートするには:

- 1. [Explore]タブで、目的のドリルダウンビューに移動します。
- 2. 目的のパネルにカーソルを合わせ、Settings (3つのドット) アイコンを選択し、ドロップダウンメニューから[Export JSON]を選択します。

JSONファイルがローカルマシンに自動的にダウンロードされます。

既存のパネルを削除する

ダッシュボードからパネルを削除するには:

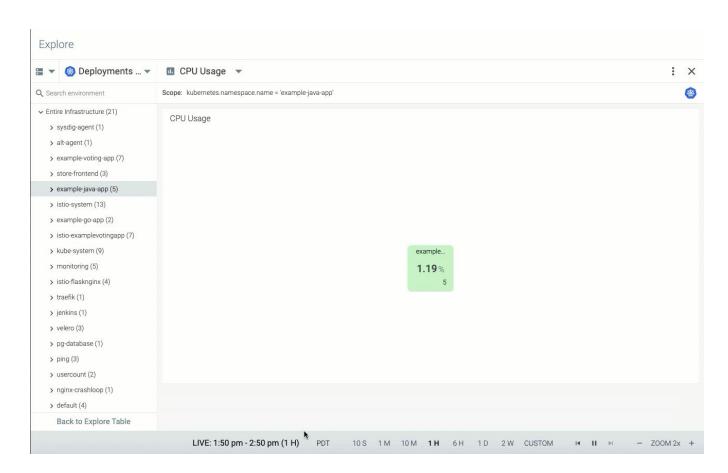
- 1. 目的のパネルにカーソルを合わせ、Settings (省略記号) アイコンをクリックして、[Delete Panel]を選択します。
- 2. [Yes, delete]ボタンをクリックして確認するか、[Cancel]ボタンをクリックしてパネルを保持します。



トポロジビューを使用したメトリクスの視覚化

トポロジビューは、システム内のさまざまなコンポーネントがリアルタイムで相互にどのように相互作用するかを視覚化するインタラクティブなアニメーションインターフェイスを提供します。 インターフェイスはデフォルトで、選択したホストの上位プロセスと、リモートホストまたはホストグループ上のプロセスとの相互作用をレンダリングします。 有効な論理グループのエンティティは、トポロジビューで視覚的に表すことができます。 相互作用はノードとリンクとして表されます。 リンクはノードを接続します。 ノードとリンクは、左から放射状に広がります。

- ノード:ネットワーク通信に参加しているエンティティ。ノードは、プロセス、コンテナ、ホスト、またはSysdig Agentによって識別される任意のラベルです。 例: kubernetes.pod.name
- リンク:ノード間のネットワーク接続



ホストとその子プロセス(host.hostName> proc.name)は、トポロジビューのデフォルトグループとして機能します。トポロジビューのスケーリングは、プロセスと接続の数によって制限されます。



Sysdig Monitorは、システムコールデータから派生したネットワークエンドポイント(IPアドレス)を 識別することにより、トポロジビューを作成します。

[Explore]タブの[Topology View]には、CPU使用率、ネットワークトラフィック、およびレスポンスタイムのメトリクスを表す定義済みのダッシュボードが用意されているため、設定はできません。これは、ボトムアップのプロセス間接続メトリクスをグラフとして提供するテンプレート診断ツールとして機能します。トポロジビューでサポートされる各デフォルトメトリクスタイプの詳細については、「トポロジーダッシュボード」を参照してください。

トポロジビューについて

UIを使用すると、表示のズームイン、ズームアウト、フィット、パン、リセット、およびノードの展開と折りたたみができます。

関連する+アイコンをクリックしてエンティティを拡大し、選択したエンティティ内の上位プロセスを表示します。 ホストを展開して、内部で実行されている個々のプロセスと対応するメトリクス値を表示できます。 ネットワーク接続を示すリンクは、選択した階層のエンティティ間、およびズームするとプロセスとエンティティ間で表示されます。 マウススクロールホイールを使用してコンテンツをズームし、左クリックしてドラッグしてウィンドウ内のマップコンポーネントを移動します。

トポロジビューでは、凡例と配色が使用されます。 このセクションでは、それらの意味を説明します。

- リンクの線幅(太さ)は、システム内の他の接続に対するメトリクス値を表します。スケーリング線の幅は、各リンクに関連付けられたメトリクス値に関連しています。トポロジビューは、各接続の記録データが変更されると、凡例を動的に調整します。
 - 細い黒い線(-):低いメトリクス値
 - 太い黒線(-):より高いメトリクス値
 - 破線 (---) : 以前に存在した接続。たとえば、実線としてレンダリングされたノードAとBの間のアクティブな接続は、その接続が新しいデータセットにもう存在しない場合、データの更新後に解消される可能性があります。 Sysdig Monitorは、グラフから削除する代わりに、次のデータ更新まで非アクティブな接続を点線で示します。 後続のデータ更新で接続が返されると、接続は再び実線でレンダリングされます。 接続が存在しない場合、その行は削除されます。



- 配色は、カスタマイズ可能なしきい値の色分けによって決定されます。 ノードは5つの色で識別されます。
 - 緑色は、ノードが正常であることを示します。



○ 黄色は、ノードが警告状態であることを示します。



○ 赤は、ノードがクリティカル状態にあることを示します。



○ 灰色は、ノードの状態が不明であることを示します。 通常、不明なノードは、Sysdig エージェントがインストールされていないノードを示します。



○ 水色は、メトリクスにしきい値が定義されていないことを示します。



トポロジビューの設定

Exploreからのアクセス

[Explore]メニューまたは[Dashboard]メニューから[Topology View]に移動できます。

エクスプローラで表示できるトポロジビューの種類は、単一のパネルのみを含む定義済みのダッシュボードテンプレートであり、編集できません。

- 1. [Explore]をクリックします。
- 2. [Explore]タブで、[Data Source]ドロップダウンメニューをクリックします。
- 3. ドロップダウンリストから目的のデータソースを選択します。
- 4. トポロジを表示するグループを選択します。
- 5. [Metrics and Dashboard] ドリルダウンメニューから、[Topology]を選択します。
- 6. 3つの定義済みダッシュボードのいずれかを選択します。

選択したメトリクスのトポロジビューが画面に表示されます。

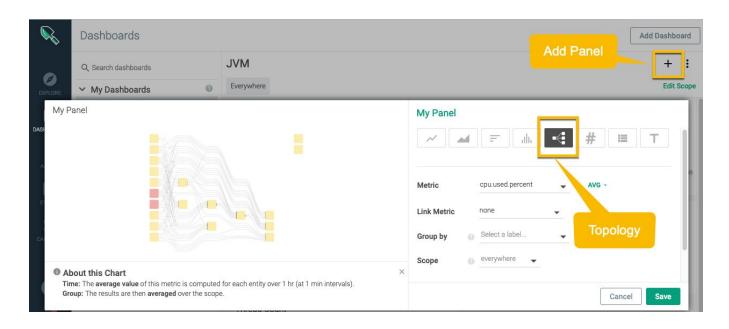


ダッシュボードからのアクセス

トポロジビューのパネルを既存のダッシュボードに追加するか、ダッシュボードウィザードでトポロジビューの新しいダッシュボードを作成し、必要に応じてパネルを追加できます。

トポロジビューをパネルとして追加する

- 1. [Dashboards]をクリックし、[Search Dashboards]パネルから関連するダッシュボードを選択します。
- 2. Add panel アイコンをクリックします。



- 3. [Topology]パネルを選択します。
- 4. 以下を指定します。
- Metric:トポロジビューで視覚化するメトリクスを選択します。
- Link Metric: ネットワーク関連のメトリクスを選択します。
- Aggregation:集約タイプを選択します。
- **Group by**:トポロジビューの階層を作成するために、最大5つのラベルを設定できます。 デフォルトでは、トポロジビューには、チームスコープに基づいたホスト名またはコンテナIDの2つのレベルがあります。
- Scope:パネルのスコープは、パネルを作成したチームのスコープと、グループ化オプション で選択されたラベルによって決まります。トポロジビューのスコープは、ダッシュボードのグ



ローバルスコープをオーバーライドします。 スコープは、[Group by]オプションで指定されたラベルでのみ構築できます。

トポロジビューのダッシュボードを作成する

プレビルドダッシュボードのいずれかを、ダッシュボードウィザードのテンプレートとして使用できます。 スコープ、集計、およびメトリクスを構成し、必要に応じて追加のパネルを追加できます。

- 1. [Dashboards]タブで、[Add Dashboard]ボタンをクリックします。
- 2. [Select a Dashboard]検索バーに「Topology」と入力します。
- 3. 3つの定義済みダッシュボードのいずれかを選択します。
- 4. ダッシュボードの名前を指定します。
- 5. [Create Dashboard]ボタンをクリックします。

新しいダッシュボードが[My Dashboards]の下のサイドパネルに追加され、設定の準備が整います。



事前定義されたダッシュボード

Sysdigは、ユーザーが環境とアプリケーションを監視するのを支援するために、事前定義された多数の ダッシュボードを提供します。 このセクションでは、すぐに使用できるメインダッシュボードの概要 を説明します。

アプリケーションダッシュボード

ダッシュボード	説明	ユースケース
Elasticsearch	このビューには、ノード数とドキュメント数、シャード、インデックス作成時間、クエリ待機時間に関する8つの重要なメトリクスが一覧表示されます。	クエリ時間に影響を与える可能性があるため、ノード数を追跡します。
HAProxy	このビューは、ホストCPU使 用率とプロキシスループット のメトリクスをレポートしま す。	
Redis	このビューは、ホストリソー スの使用率とアプリケーショ ンのパフォーマンスに関する 7つのメトリクスをレポート します。	



Cassandra By Node

このビューには、主要なシステムメトリクスと、リクエスト量や圧縮などのCassandra 固有のメトリクスを組み合わせることにより、Cassandraクラスター内のすべてのノードのパフォーマンスが表示されます。

- (「Cassandra Overview」ビューを使用して)メトリクスに問題があることがすでにわかっている場合へくないる場合でいる場合でいるますのビューを含むグルートが問題のアードが確認であるかを確認するのはます。

Cassandra Overview

このビューは、主要なシステムメトリクススとリクエストボリュームや圧縮などの Cassandra固有のメトリクススを混合することにより、 Cassandraクラスターのパフォーマンスを示します。

- データベースの全体的な健全性のトラブルシューティングを行う最初の開始点として、Cassandraクラスター全体を含むグループでこのビューを使用します。
- 一般的なシステムメト リクスを調べて、クラ スターが過負荷になっ ていないことを確認し ます
- 表示されている情報 を、保留中の圧縮や JVMメトリクスなどの 重要な高度なCassandra メトリクスと関連付け て、重大な問題を特定 します。



HTTP Top Requests

このビューには、リクエストの合計数、リクエストを処理する平均時間と最大時間、リクエストとレスポンスに含まれるトラフィック量など、Webサーバーへの上位リクエストURLの詳細が表示されます。

MongoDB

このビューは、MongoDB サービスがどれほどビジーで あるか、どのコレクションが 最も需要が高く、どのコレク ションが最もパフォーマンス が遅いかを示します。 クエリおよびインデックスのパフォーマンスチューニングの恩恵を受ける可能性があるコレクションを見つけるために使用します。

HTTP

このビューは、Webサーバーにかかる負荷と、サーバーが要求にタイムリーにサービスを提供する能力を示すことにより、Webサーバーの正常性の基本的な理解を提供します。

- サーバーの全体的なビジー状態を測定します。
- [トップURL]パネルと[最 も遅いURL]パネルの相 関関係を特定して、パ フォーマンスを向上さ せる機会を見つけま す。

MySQL/PostgreSQL

このビューには、SQLデータベーストランザクションの全体的な負荷とパフォーマンスステータスが、リクエスト数とそれらの処理速度に関するメトリクスとともに表示されます。

パフォーマンスを改善 できるかどうかを判断 します。

MySQL/PostgreSQL Top

このビューは、受信したクエリの数とクエリで送受信されたトラフィックの量のメトリクスを表示することにより、上位のSQLクエリを表示します。



コンプライアンスダッシュボード

ダッシュボード	説明	ユースケース
Compliance (Docker)	Dockerで利用可能なコンプラ イアンスメトリクスの概要を 提供します。	● CIS Dockerベンチマークテスト を実行した後、Docker構成を確 認します。
Compliance (Kubernetes)	Kubernetesで利用可能なコン プライアンスメトリクスの概 要を提供します	● CIS Kubernetesベンチマークテストを実行した後、Kubernetesクラスター構成を確認します。



ホストとコンテナのダッシュボード

ダッシュボード	説明	ユースケース
Overview by Container	定義されたスコープ内で実行されている コンテナのCPU、ファイルバイト、メモ リ、ネットワークバイトなどのリソース 使用統計を表示します。	 このビューを監視して、どのコンテナが不均衡な量のリソースを使用しているかを特定します。 アプリケーションをより高性能なホストに移動する必要があるかどうかを判断するのに役立ちます。
Overview by Host	定義されたスコープ内で実行されているホストの、CPU、ファイルバイト、メモリ、ネットワークバイトなどのリソース使用統計を表示します。	このビューを使用して、同様のジョブ機能を持つホストのグループ内でホストが使用されているか、使用されていないかを識別します。
Overview by Process	定義されたスコープ内で実行されている 上位プロセスの、CPU、ファイルバイ ト、メモリ、ネットワークバイトなどの リソース使用統計を表示します。	 このビューを監視して、不均衡な量のリソースを使用しているプロセスを特定します。 アプリケーションをより高性能なホストに移動する必要があるかどうかを判断するのに役立ちます。
Overview by Container Image	コンテナイメージの概要は、環境内のイ メージごとにリソース使用量のメトリク スを分類します。	
Container Limits	コンテナ制限ダッシュボードには、環境 全体のCPUおよびメモリの制限と、現在 使用されている割合が表示されます。	



Top Files	トップファイルダッシュボードには、環境全体で最も使用されているファイルの表が表示されます。 デフォルトでは、列メトリクスは、使用された合計バイト数、発生したエラー、およびファイルに関連する入出力操作の合計時間です。	
Sysdig Secure Summary	サマリーダッシュボードは、アクティブなエージェントの数、定義されたポリシーの数と有効になっているポリシーの数、およびポリシーイベントの要約情報など、Sysdig Secure環境の完全な概要を提供します。	
Top Processes	ホストで実行されている上位プロセスを リストします。	■ 同じプロセスが複数回生成 される環境で、最も消費量 の多いプロセスを特定しま す。
Sysdig Agent Summary	このビューは、環境にデプロイされているSysdigエージェントの数とそのバー ジョンを報告します。	
Top Server Processes	サーバー指向のプロセス(httpd、java、 ntpdなど)のリソース消費のみを表示し ます。	■ このビューを使用して、 サーバープロセスのみのリ ソース使用量を確認します。



File System

このテーブルビューには、ディレクトリマウントポイント、ファイルシステムデバイス、およびインスタンスにマウントされたファイルシステムの容量と使用状況の情報が表示されます。 グループが選択されている場合、メトリクスは同様のファイルシステムマウントポイントの平均です。

どのファイルシステムがいっぱいになっているか、 十分に活用されていないかを特定します。

注意

リモートでマウントされたファイルシステムは、デフォルトではリストされていません。 有効にするには、各インスタンスの

/opt/draios/bin/dragent.propertiesファイルにエントリ「remotefs.enabled = true」を追加します。

ネットワークダッシュボード

ダッシュボード

説明

ユースケース

Connections Table

接続テーブルダッシュボードに は、環境のローカルエンドポイン トとリモートエンドポイントの完 全なリスト、およびそれらのエン ドポイントに関連するすべての ネットワークトラフィックリソー ス統計が表示されます。 このビューを使用して、 レビュー中のホストの ネットワーク上のトップ トーカーをすばやく見つ けます。

Overview

ネットワーク概要ダッシュボードは、総入力と出力、ホスト、アプリケーション、プロセスごとに分類されたトラフィックなど、環境のネットワークトラフィックの広範な概要を提供します。



Response Times vs Resource Usage

ダッシュボードは、メモリとCPUの使用率、ネットワークの応答時間、ネットワークとファイルの合計バイト数など、指定された期間にわたるさまざまな使用統計と応答時間をマップします。

● このビューを使用して、 レスポンスパフォーマン スに最も影響するリソー スを特定します。必要 に応じてこれらのリソー スを増やして、レスポン スレートが向上する うかを確認します。

Top Ports

上部のポートダッシュボードには、各ポートへの接続数、着信、発信、合計バイト数など、ポート別に分類された統計が表示されます。

Kubernetesリソース使用率ダッシュボード

Kubernetes *ヘルスダッシュボードは、さまざまな論理エンティティごとにリソースとパフォーマンスのメトリクスを分類し、詳細な分析を可能にし、重要な問題を特定して特定できるようにします。各ダッシュボードは、レイテンシー、トラフィック、エラー、およびサチュレーションの監視に対するゴールデンシグナルアプローチに基づいて構築されています。リソース使用率のメトリクスは、正常性とパフォーマンスを対象としています。これらは、KubernetesオブジェクトによるCPU、メモリ、ネットワーク、ストレージの使用状況などの側面です。kube-state-metricsはステータスまたはカウントに関するものです。kube-state-metricsとリソース使用率メトリクスを組み合わせて、各ダッシュボードはKubernetes環境で何が起こっているかの包括的な情報を提供します。

ダッシュボード	説明	ユースケース
Kubernetes Cluster Overview	Kubernetesクラスターの概要を説明します。	 パフォーマンスのボトルネックを特定します。 あまりにも多くのクラスターリソースを消費している論理エンティティ、または持続不可能なレイルに向かる論理エンティティを見つけます。



Kubernetes Deployment Overview

各デプロイメントに十分な数の利用可能な ポッドとリソースがあるかどうかを強調し、 実行中のポッドの数、希望するポッド、また は更新されたポッドの数を示します。

- 特定のエンティティを深 く掘り下げて、問題の根 本原因を特定します。
- 長期にわたる使用率を使 用して、拡張容量をより 適切に推定します。

例:

利用可能なポッドがない デプロイメントは、対応 するアプリがリクエスト を処理していないことを 示します。この条件で ダッシュボードを取得す ることは、メトリクスを 視覚化し、問題を迅速に 見つけて解決するための アクションを開始できる ことを意味します。

- 使用可能なポッドの数を ドロップし、必要な数を 下回っていることは、ア プリケーションのパ フォーマンスが低下して いるか、必要な冗長性で 実行されていないことを 示します。ダッシュボー ドにこれらのメトリクス が表示されるため、アプ リのユーザーエクスペリ エンスへの影響の重大度 を一目で把握できます。
- 長期間に実行されるレプ リカの数が目的のレプリ カの数よりも少ない場合 は、ノードまたはリソー スが使用できない、 KubernetesまたはDocker Engineの障害、壊れた Dockerイメージなど、エ ンティティが適切に動作 していないという症状を 示しています。デプロイ メントオブジェクトのレ プリカがないと、アプリ がダウンしている可能性 があります。

Kubernetes Namespace Overview

ネーススペースレベルでのリソースリクエス トやリソースリミットなどのメトリクスを表 示します。ポッド、デプロイメント、 DaemonSet、Statefulset、ジョブなどの Kubernetesエンティティのパフォーマンス、 およびreplicaSets仕様への準拠を識別しま す。 ネームスペースごとのサービス、デプロ イメント、replicaSet、およびジョブの数を強 調表示します。

Kubernetes Node Overview

準備ができている、使用できない、または ディスク外にあるノードの数を強調表示しま す。メモリ、ディスク、またはネットワーク の圧力下にあるノードの数。ノード上の割り 当て可能な容量と要求された容量を比較しま す。スケジューリングに使用可能なノードの ポッドリソースの数と、ノードで実行されて いるポッドを提供するために使用可能な容量 を提供します。



Overview を待機しているポッドの数、各ポッド内のコ ンテナのリソース使用率、ポッド要求を処理 するための利用可能な容量、目的のポッドと 比較した利用可能なポッドの数をグラフ化す ることにより、潜在的なボトルネックを特定 するのに役立ちます 利用可能な状態でリクエ ストを処理する準備ができているポッドの 数。 Kubernetes 環境内のStatefulSetオブジェクトの概要. StatefulSet Overview DaemonSetオブジェクトの概要 Kubernetes DaemonSet Overview すべてのジョブとパフォーマンス情報の概要 Kubernetes Job Overview Kubernetes replicaSetごとのポッドの数、replicaSetごと ReplicaSet のポッドの希望数、準備完了状態のreplicaSet Overview ごとのポッドなどの詳細を提供します。 ワークロードのリソース使用率を表示します Workloads CPU Usage and Allocation

コンテナの再起動数、スケジュールされるの

ワークロードのメモリ使用率を表示します。

ポッドの再起動の連続 ループ(CrashLoopBackOff)は、 依存関係の欠落、要件の 満たされていなに関りま はリソース不足にりりる可能性がありとしている可能性がありとしておいが準備完了 が態になる可とよびがよいとしてからしておよびがありとしてからます。



Workloads

Memory Usage and Allocation

Kubernetes Pod

CPU Allocation Optimization	Highlights CPU allocation optimization.	
Memory Allocation Optimization	メモリ割り当ての最適化を強調しています。	
Kubernetes Health Overview	Kubernetes環境全体のパフォーマンスの包括的な概要を提供します。さまざまな論理エンティティと、基礎となるリソースの可用性と使用状況によって分類されています。このダッシュボードは、ポッド、ネームスペース、デプロイメント、replicaSet、コンテナなどの論理的なKubernetesエンティティによってリソースとパフォーマンスのkube-state-metricsを分類します。	 これら3つのダッシュ ボレら3つのダッとのパースを使用境のパースを使用ではいまれてのパースをです。 した、パーリョののですが、ののでは、ののでは、からのですが、では、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、



Kubernetes Cluster and Node Capacity CPU、メモリ、ファイルシステムの使用率、ネットワークトラフィックなど、Kubernetes クラスターを形成するホストまたはノードのパフォーマンスの包括的な概要を強調表示します。

ダッシュボードを分析する前に、リソースの 使用に関する次のガイドラインを考慮してく ださい。

- コンテナのリソースリミットが未定義 の場合、Kubernetesはデフォルトで値 を設定しません。
- コンテナのリソースリクエストが指定 されていない場合、Kubernetesは明示 的に指定されている場合はデフォルト でLimitsに設定され、そうでない場合 は実装定義の値に設定されます。リ ミットはデフォルトではありません。
- リソースリミットとリソースリクエストの両方が指定されていない場合、 Kubernetesによってデフォルト値が設定されていたとしても、 kube-state-metric(したがってSysdig Monitor)はゼロを報告します。したがって、

kubernetes.pod.resourceRequests.me mByteメトリクスによって報告されるのは、ユーザー定義のリクエストのみです。

コンテナによって使用されるメモリ(memory.used.bytesによって返される値)は、ポッドによって要求されるメモリ(kubernetes.pod.resourceRequests.memByteによって返される値)より大きくオスニトができます。これは

くすることができます。これは Kubernetesで許容されます。これは、 リスクエスト値によって必要な最小リ ソース量が決まるためです。

これらの理由から、それは推論できる

- 場合によっては、使用済みリソースの 値はリソースリスエストとリソースリ ミットの値よりも大きくなり、リソー スリスエストの値はリソースリミット の値よりも大きくなる可能性がありま
- kubernetes.pod.resourceRequests.me mByte <= memory.used.bytes <=



kubernetes.pod.resourceLimits.memBy teの値

Kubernetes State ダッシュボード

Kubernetes*Stateダッシュボードは、Kubernetes環境の状態に関する洞察を提供し、コンテナベースのサービスが期待どおりにスケジュールされ、実行されていることを確認するのに役立ちます。

ダッシュボード	説明	ユースケース
Kubernetes State Overview (Deprecated in the 3.0.0 release.)	Kubernetes環境の状態の概要を提供します。 Kubernetesオブジェクトの数をリストし、各デプロイメントに十分な数の使用可能なポッドとコンテナがあるかどうかを判断します。	 ・ さ さ さ た り と に さ さ た り さ り さ さ
Kubernetes Daemonset State (Deprecated in the 3.0.0 release.)	各デーモンセットが準備、スケ ジュール、スケジュール解除、およ び希望するポッドのリストを強調表 示します。	
Kubernetes Namespace State (Deprecated in the 3.0.0 release.)	ネームスペースレベルで利用可能な Kubernetesオブジェクトの数を表 示します。ポッドの再起動回数 と、ポッドのステータスとポッド キャパシティの概要を提供すること により、潜在的なボトルネックを特 定します。	
Kubernetes Resource Quota State	リソースのリミットとリクエストの概要、およびレプリケーションコントローラー、サービス、サービスポート、サービスロードバランサー、configMap、およびシークレットの数を提供します。	



Kubernetes Pod State (Deprecated in the 3.0.0 release.) 準備ができているポッドの数、ポッドごとのコンテナの数、およびノードの総数を強調表示します。 ポッドのキャパシティの概要には、ポッドの状態と対応するリソース使用量が一覧表示されます。 リソース使用量は、潜在的な問題を識別するために色分けされています。

- ノードで要求された 容量に関して、割り 当て可能なキャパシ ティを特定します。
- replicaSetごとに必要 なポッドの数を決定 します。

Kubernetes Stateful State (Deprecated in the 3.0.0 release.)

Statefulsetごとに準備ができているポッドの数とコンテナを表示します。ポッドの再起動の回数、ステートフルセットごとのポッド、および必要なポッドの数が強調表示の概要には、ポッドのキャパシティの概要には、ポッドの状態と各Statefulsetの対応するリソース使用量が一覧表示されます。潜在的な問題を識別するために、リソース使用量は色分けされています.

Kubernetes Nodes State (Deprecated in the 3.0.0 release.) 準備ができている、使用できない、またはディスク外にあるノードの数、メモリ、ディスク、またはネットワークの圧力下にあるノードの数を強調表示します。ノードに割りを強調表示して、ポッドを提供します。ポッドキャパシティの概要を提供します。

Kubernetes Deployment State (Deprecated in the 3.0.0 release.) 実行中のポッドとレプリカの数を示します。希望、使用可能、一時停止、使用不可、または各デプロイメントで更新されています。 各展開、および関連するポッドとネームスペースで使用可能なリソースキャパティティ量を要約します。



サービスダッシュボード

ダッシュボード	説明	ユースケース
Overview by Service	サービス別の概要ダッシュボードには、コンテナイメージで実行されている各サービスのサイズ、パフォーマンス、およびリミットが表示されます。	
Service Overview	サービス概要ダッシュボードは、使用しているリソース、レスポンスタイム、コンテナとリクエストの数、およびレスポンスタイムをリソース使用率に対して測定する方法など、単一のサービスの概要を示します。	

トポロジーダッシュボード

ダッシュボード	説明	ユースケース
CPU Usage	CPU使用率ダッシュボードは、cpu.used.percentメトリクスを使用して、CPU使用率が環境全体にどのように分散しているかを示します。	どのインスタンスが通信しているかを特定しますが、 Sysdig Monitorエージェントはインストールされていません
		●CPU使用率が上昇したと きに色分けされたビジーな ホストを見つけます。
Network Traffic	ネットワークトラフィックダッシュ ボードには、ネットワーク帯域幅が 環境全体にどのように分散されてい るかが表示されます。	●どのインスタンスが通信しているかを特定しますが、 Sysdig Monitorエージェントはインストールされていません
Response Times	レスポンスタイムダッシュボード は、net.request.time.inメトリクスを 使用して、環境内のプロセス間の平 均ネットワークトラフィック応答時 間を表示します。	



新規ダッシュボード

通知

新しいダッシュボードのサポートはベータ版です。

Sysdig Monitorを使用すると、フォームベースおよびPromQLベースのクエリをサポートする新しい機能豊富なダッシュボードを作成できます。 新しいダッシュボードは、PromQLクエリの実行のサポートに加えて、いくつかのユーザーエクスペリエンスの強化を提供します。

- パネルごとに複数のデータクエリ
- 基本(フォームベース)および高度な(PromQL)データクエリ
- 基本的なクエリ結果と履歴データを比較する
- クエリサポート:
 - 複数のメトリクスをクエリできます
 - クエリ(時系列)の結果を線、棒、積み上げ領域、階段などとしてレンダリングします。
 - 各クエリを個別にスコープおよびセグメント化する機能
 - ダッシュボードスコープの継承、拡張、またはオーバーライド
 - オーバーライドできるメトリクス記述子ベースのユニット
 - クエリユニットタイプに基づいて自動的にY軸を割り当て、オーバーライドする機能



新しいダッシュボードUIについて

図1.新しいダッシュボード



ウィジェット

新しいダッシュボードは、時系列(タイムチャート)、数値グラフ、表、およびトップリストをサポートしています。

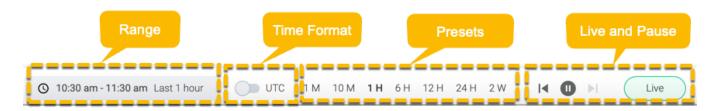
タイムチャートと数値グラフはフォームベースと高度な(PromQL)クエリの両方をサポートしますが、テーブルとトップリストパネルはフォームベースのクエリのみの構築をサポートします。

タイムナビゲーション

新しいダッシュボードは時間に基づいています。 クエリが実行された後、Sysdig Monitorは10秒ごと にインフラストラクチャデータをポーリングし、ダッシュボードパネルのメトリクスを更新します。



この収集データを表示する方法を選択するには、プリセット間隔と時間範囲を選択します。



プリセット

プリセットは、Sysdig Monitorが10分ごとに収集するデータを視覚化する方法です。 プリセットを選択して、表示するデータサンプルを決定します。 概要では、次のプリセットがサポートされています。

- 10秒
- 1分
- 10分
- 1時間
- 6時間
- 1日
- 2週間

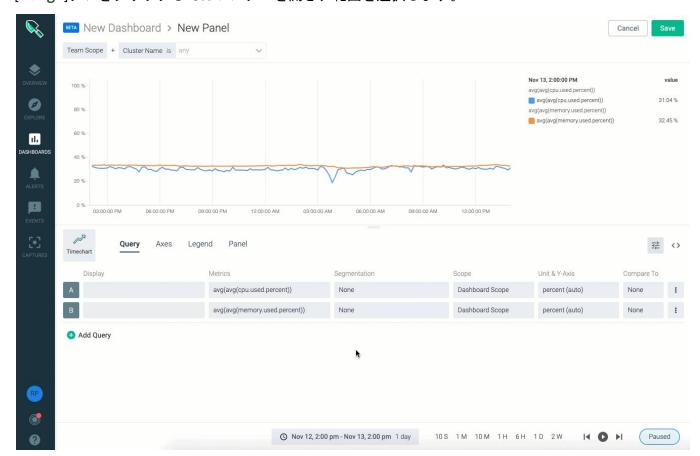
プリセットは範囲選択と連動します。 特定のプリセット間隔を選択すると、範囲の選択が更新され、 続いて概要行とイベントがリロードされます。 例えば:

- 10分:範囲を12月9日午後2時20分から12月9日午後2時30分にリセットします。
- 6時間:範囲を12月9日午前8時30分~12月9日午後2時30分にリセットします。
- 1日:範囲を12月8日午後2時30分~12月9日午後2時30分にリセットします。

範囲

範囲には、日付と時間の両方の間隔、および選択したプリセットが括弧内に表示されます。UIに示される範囲は、プリセットによって決定されます。指定された時間は最も近い時間間隔であり、デフォルトでは、1時間で事前設定された現在の日時です。





[Range]タブをクリックしてカレンダーを開き、範囲を選択します。

Rangeがプリセットとどのように機能するかを理解するには、プリセットを参照してください。

ライブ

ライブバッジは、フィード(データを含む概要行)がライブか一時停止かを示します。

- ライブ: Sysdigバックエンドの10分間のポーリングに基づいて、データは継続的に更新されます。通常、概要フィードは常にライブです。
- 一時停止:特定の行が選択されると、データの更新が一時停止し、新しいデータが入って行が 更新されません。

タイムフォーマット

新しいダッシュボードは、UTCおよびPDTの時刻形式をサポートしています。範囲の横にあるトグルボタンを使用して、範囲に表示されるスロットの時間形式を変更します。デフォルトはPDTです。



パネルのプロパティ

- クエリ
- 軸
- 凡例
- パネル

クエリ

新しいダッシュボードを使用すると、フォームベースと詳細の2つの方法でクエリを作成できます。クエリを作成し、[メトリクス]フィールドにキーワードを入力すると、オートコンプリートによりクエリ内のメトリクスの候補が表示されます。

フォームベースのクエリ

UIフィールドを使用してクエリを作成します。フォームベースのデータクエリは、時間とグループの集計、セグメンテーション、表示、受信データの両方の単位、Y軸でのデータの表示、およびスコープを持つ1つまたは複数のメトリクスで構成されます。ダッシュボードスコープを継承することを選択できます。



フォームベースのクエリは、Sysdigドット表記とPrometheus互換のアンダースコア表記の両方をサポートしています。



高度なクエリ

高度なクエリフィールドは、PromQLのみをサポートします。 次のようにPromQLクエリを手動で入力 L.ます。



各クエリはグループアグリゲーターで始まり、その後にタイムアグリゲーター、次にメトリクスとセグメンテーションが続きます。 例えば:

sum(rate(promraw_go_memstats_heap_released_bytes_total [5m]))by(kubernetes_cluster_name)

軸を定義する

Sysdig Monitorは、グラフに2つのY軸を追加する柔軟性を提供します。また、それらを使用するかどうかを決定することもできます。追加のクエリを追加する場合は、追加のY軸へルプを追加するオプションがあります。

Y軸とY軸右の両方に次を指定します。

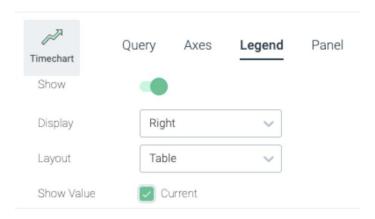
- 表示:選択すると、グラフにY軸が表示されます。
- スケール:グラフにデータを表示するスケールを指定します。
- 単位:受信データのスケールの単位を指定します。
- 表示形式:Y軸に表示するデータのスケールの単位を指定します。
- Y-Max: Y軸に表示される最高値を指定します。これを範囲の最高点と考えてください。制限を 数値として指定できます。ただし、指定する値のタイプは、軸に沿った値のタイプと一致する 必要があります。 Y-Maxは常にY-Minより大きくする必要があります。
- Y-Min: Y軸に表示される最小値を指定します。これを範囲の最低点と考えてください。両方の制限を指定することも、一方の制限を指定して、軸にもう一方の制限を自動的に計算させることもできます。



凡例を定義する

プロットされた時系列ごとに説明ラベルの付いた凡例が必要かどうかを判断します。 場所とレイアウトを指定します。 表示される値は、最後に計算されたデータである必要があります。

ラベルの場合、凡例では、[クエリの表示名]フィールドと[時系列名]フィールドで指定したテキストが 使用されます。



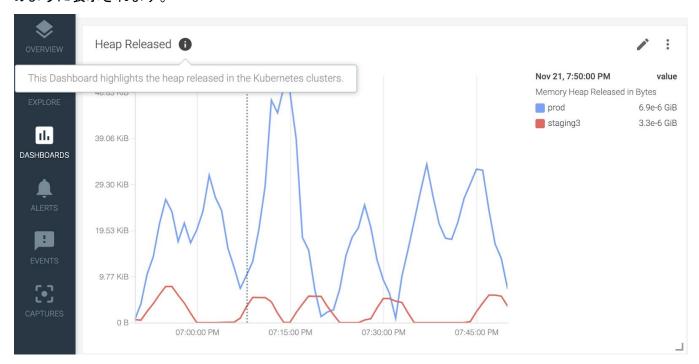
表示を有効にして凡例を表示するか、存在しない場合は凡例を作成します。

右は、パネルの右上隅に凡例を配置します。下部では、パネルの左下隅に凡例を配置します。



パネルを定義

[パネル]タブを使用して、パネルの見出しと説明を指定します。 入力した説明は、パネル情報として次のように表示されます。



新しいダッシュボードを設定する

通知

新しいダッシュボードのサポートはベータ版です。

Sysdig Monitorは、フォームベースとPromQLベースの両方のクエリをサポートしています。 クエリを 実行するだけで、Sysdig Monitorはダッシュボードを作成します。ダッシュボードは、好みに応じてカ スタマイズできます。

ダッシュボードを作成するには:

- 単純なクエリまたは高度なクエリを作成します。
- 左右のY軸を定義します。
- 凡例を定義します。



パネルのタイトルと説明を設定します。

単純なクエリの構築

視覚化のタイプごとに異なる設定があり、クエリフィールドはタイプによって決定されます。 デモのために、このトピックでは折れ線グラフを作成する手順を説明します。

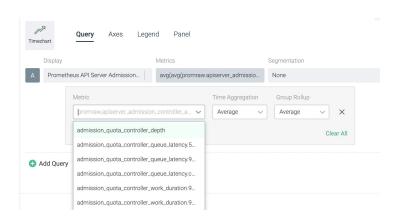
1. 「ダッシュボード]タブで、「ダッシュボードの追加]をクリックします。



2. [ベータダッシュボード]をクリックします。

[ベータダッシュボード]をクリックすると、avg(avg(cpu.used.percent))メトリクスのデフォルトのベータダッシュボードが開きます。

- 3. 視覚化タイプを選択します。詳細については、パネルのタイプを参照してください。
- 4. タイムナビゲーションから適切なタイムプリセットを選択します。
- 5. 次のようにメトリクスを選択します。



時間の集計とグループのロールアップを指定します。

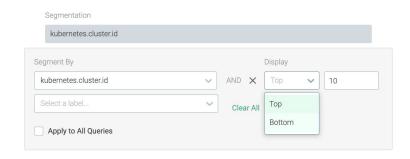
6. [表示]フィールドで表示テキストを指定します。



テキストは凡例のタイトルとして表示されます。



7. 適切なセグメンテーションを指定します。

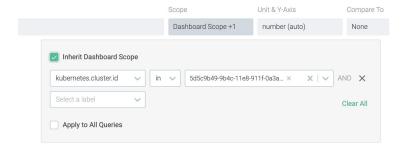


エンティティの数と、凡例に表示される順序を入力できます。

注意

番号パネルには適用されません。

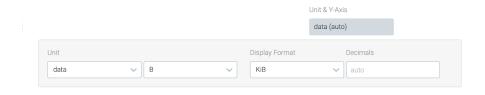
8. 作成するダッシュボードのスコープを指定します。



ダッシュボードスコープをそのまま継承するか、選択したエンティティのセットのみにスコープを適用するかを選択できます。



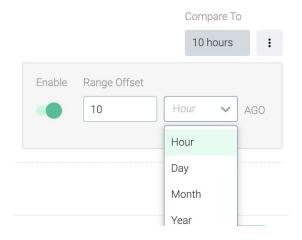
9. Y軸のスケールの単位と表示形式を指定します。



注意

タイムシリーズパネルにのみ適用可能。

10. オプションで、データを履歴データと比較します。



セグメンテーションが適用される場合、メトリクスを履歴データと比較することはサポートされていません。

高度なクエリの構築

現在、Advanced QueryフィールドはPromQLクエリのみの実行をサポートしています。

1. ベータダッシュボード画面で、次のいずれかを実行します。



- ダッシュボードにパネルが存在しない場合は、[ダッシュボードの追加]をクリックします。
- ダッシュボードに新しいパネルを追加する場合は、[パネルを追加]をクリックします。
- 2. [高度なクエリ]ボタンをクリックします。



[高度なクエリ]パネルが表示されます。

3. 次のようにクエリを入力します。

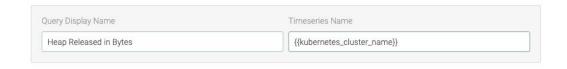


この例では、5分間の間隔でバイト単位で解放されるメモリヒープのレートが計算され、次に各 Kubernetesクラスターで合計レートが計算されます。

4. 目的の時間枠を選択します。



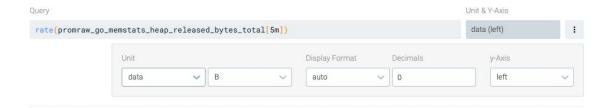
5. 凡例の説明的なタイトルと時系列の名前を指定します。



イメージに示すように変数を指定できます。 変数名は、凡例のKubernetesクラスター名に置き 換えられます。



6. 受信データの単位とデータの表示方法を指定します。



たとえば、受信データをキロバイト単位で収集してメガバイトとして表示するように指定できます。

また、グラフ上のY軸の位置を決定します。 追加のクエリがある場合、グラフに追加のY軸を配置する柔軟性が役立ちます。

7. [保存]をクリックして変更を保存します。

PromQLを使用する

通知

PromQLサポートはベータ版です。

Prometheusクエリ言語(PromQL)は、Prometheusメトリクスデータをクエリするためのデファクトです。 PromQLは、ユーザーが時系列データを選択して集約できるように設計されています。

Sysdig MonitorのPromQLサポートには、標準のオープンソースPromQLのすべての機能、および集約が含まれます。 PromQL言語は、Prometheus Query Basicsで文書化されています。

PromQLを使用するためのガイドライン

- PromQLはベータ版です。ご使用の環境でPromQLを有効にするには、beta@sysdig.comの Sysdigサポートにお問い合わせください。
- 現在、高度なクエリはPromQLクエリの実行のみをサポートしています。



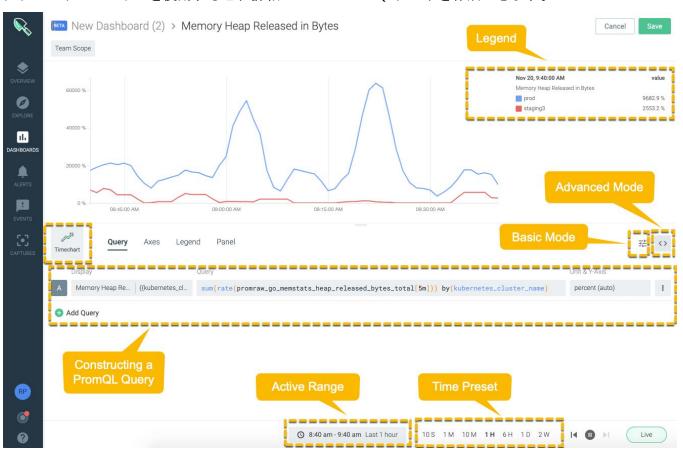
- 現在、PromQLクエリの実行に使用できるのはPrometheusメトリクスのみです。
- 現在、Prometheusメトリクスはpromraw というプレフィックスで表示されます。

クエリの構築

高度なクエリモードを使用する場合にのみ、Prometheusメトリクスをフィルタリングし、ダッシュボードを構築できます。 高度なクエリモードでは、PromQLクエリを直接実行します。 演算子と関数を使用して、複雑なフィルタリングを有効にします。

PromQLクエリを構築する

ダッシュボードパネルを使用すると、詳細モードでPromQLクエリを作成できます。



表示:凡例のわかりやすい表示名を指定します。入力したテキストは、凡例に表示されるメトリクス名を置き換えます。デフォルトの凡例タイトルはメトリクス名です。



● クエリ: PromQLクエリを直接入力します。例えば:

sum(rate(promraw_go_memstats_heap_released_bytes_total [5m]))by(kubernetes_cluster_name)

コンストラクトでは、次を指定します。

- メトリクス:目的のメトリクスを検索します。フィールドはオートコンプリートをサポート しています。テキストを入力すると、入力した残りのテキストが予測されるため、メトリク スを簡単にフィルタリングできます。例:promraw_go_memstats_heap_released_bytes_total
- セグメンテーション:データを正確に制御するために、集約されたデータをラベルで分類するプロセスです。集約されたPromQLデータをセグメント化するための適切な値を選択します。この例では、kubernetes_cluster_name

PromQLクエリフィールドは、次の変数をサポートしています。 Prometheusエンドポイントにデータ 要求を発行する前に、実行時にUIで両方の変数が置き換えられます。

- \$_range:時間ナビゲーションで現在選択されている時間範囲に置き換えられます。ライブモードでは、新しい時間範囲を反映するために常に更新されます。
- \$_interval:選択された時間範囲に基づいた時間サンプリングに置き換えられます。それが あなたがそれを直接制御しないことを意味するもの。たとえば、1時間のデータを見ると、 サンプリングは1分になります。サンプリングは、データのロールアップに関してバックエ ンドコンポーネントによって公開された情報に基づいて計算されます。
- 単位とY軸:スケールの単位と表示形式を指定します。
- 比較先: (フォームベース) 現在の値を履歴値と比較できます。セグメンテーションが指定されている場合はサポートされません。
- 軸:Y軸のスケール、単位、表示形式、およびゲージを決定します。説明については、新しいダッシュボードの構成を参照してください。
- 凡例:ダッシュボードでの凡例の位置を決定します。説明については、新しいダッシュボードの構成を参照してください。
- パネル:名前を指定し、パネルに関する詳細を追加します。説明については、新しいダッシュボードの構成を参照してください。



スクリプトを使用してダッシュボードを保存およ び復元する

Sysdig Monitorは、ユーザーが既存のダッシュボードをローカルに制御されたファイルに保存し、以前に保存されたものと同じ新しいダッシュボードを作成する機能をユーザーに提供します。これは、SysdigのPythonクライアントライブラリのサンプルスクリプトを使用して実行できます。保存スクリプトは、アクティブなアカウントの現在のすべてのダッシュボードを.zipアーカイブに保存し、復元スクリプトはアーカイブ内のすべてのダッシュボードをダッシュボードのリストに追加します。

復元スクリプトは、保存スクリプトと同じアカウントをターゲットにする必要はありません。 これにより、ダッシュボードを1人のユーザーから保存し、複数のユーザーに復元できます。

警告

ダッシュボードを復元しても、ユーザーの既存のダッシュボードは上書きされません。 代わりに、新しいダッシュボードがリストに追加されます。

このスクリプトを厳密にバックアップ/復元の容量で使用する場合、復元アクションが完了する前または後に、ダッシュボードをアカウントから手動で削除する必要があります。

前提条件

スクリプトの保存と復元には、次の前提条件があります。

- Python 2.x (2.7.x)
- pipバージョン1.3以降

注意

pipは、バージョン2.7以降のPythonパッケージの一部としてインストールされます

● virtualenv (推奨)



ライブラリとサンプルスクリプトは、Sysdig GitHubリポジトリ (https://github.com/draios/python-sdc-client) で入手できます。

スクリプトをダウンロードする

スクリプトのローカル環境を構成するには:

- 1. リポジトリからpythonクライアントの.zipアーカイブをダウンロードして解凍するか、リポジトリのクローンを作成します。
- 2. sysdig @ user : ~\$ git clone https://github.com/draios/python-sdc-client.git
- 3. ターミナルで、ディレクトリに移動します。
- 4. 必要に応じてPython環境を構成します。

注意

Pythonに慣れていない場合、Sysdigはpipおよびvirtualenvを介してセットアップすることをお勧めします。

```
sysdig@user:~$ mkdir -p ~/workingdir/venv # declare where you want all python tools installed sysdig@user:~$ sudo virtualenv ~/workingdir/venv # prepare the workspace -- this may download several things sysdig@user:~$ source ~/workingdir/venv/bin/activate # cause all python tools to use this workspace from now on (venv) $ # at this point the prompt reminds us we're in the virtual environment (venv) $ pip install . # install the sdcclient library into the venv
```

sdcclientモジュールがPythonで利用可能になりました。

Pythonスクリプトですべてのダッシュボードを保存する

ダッシュボードを保存するには:

- 1. ターミナルで、スクリプトのダウンロードで設定された仮想環境にアクセスします。
- 2. API_TOKENを関連するユーザーのAPIトークンに置き換え、SAVED_DASHBOARDS.ZIPを目的のzipファイル名に置き換えて、スクリプトを実行します。



```
(venv) $ sudo python examples/download_dashboards.py API_TOKEN SAVED_DASHBOARDS.ZIP
Dashboard name: JVM, # Charts: 5
Finished writing dashboard data in zip format to SAVED_DASHBOARDS.ZIP
```

詳細については、Sysdig APIトークンの取得を参照してください。

Pythonスクリプトを使用してダッシュボードを復元する

.zipアーカイブからダッシュボードを復元するには

- 1. ターミナルで、スクリプトのダウンロードで設定された仮想環境にアクセスします。
- 2. API_TOKENを関連するユーザーのAPIトークンに、SAVED_DASHBOARDS.ZIPを正しいzipファイルに置き換えて、スクリプトを実行します。

(venv) \$ sudo python examples/restore_dashboards.py API_TOKEN SAVED_DASHBOARDS.ZIP
Dashboards pushed.
(venv) user@server:~/python-sdc-client\$

